

# 「指定通所介護事業所等における宿泊サービスの都独自基準及び届出・公表制度」(案)の概要

資料1

## 経緯等

- 指定通所介護事業所等の利用者を対象に、当該事業所の設備の一部を使用した宿泊サービスを提供する事業所が増加
- 国において宿泊サービスの基準や届出の仕組みがなく、事業の実態把握や法令等による指導が困難な状況

## 実施内容

- 利用者の尊厳保持及び安全確保のため、
- 1 宿泊サービスについて、**都独自基準**を定めます。
  - 2 宿泊サービスを提供している事業所については**届出**を指導します。
  - 3 届出項目については**公表**します。
  - 4 宿泊サービスの提供内容について**指導**します。

## 届出・公表・都独自基準の概要

### 届出・公表

- 指定通所介護事業所等の設備の一部を使用して宿泊サービスを1か月に5日以上提供する場合、届出を指導
- 届出項目を東京都のホームページで公表

### 届出

- 1か月に5日以上宿泊サービスを提供する事業所を対象
- 事業所の基本事項
- 基準の届出項目

### 公表

#### 《効果》

- ・ 届出による事業の実態把握
- ・ 利用者の安全確保
- ・ ケアプラン作成の情報として選択、活用
- ・ 都民の選択によるサービスの質の確保

## 宿泊サービスの都独自基準

### 指導・助言

### ● 宿泊サービス

指定通所介護事業所や指定認知症対応型通所介護事業所等において、その設備の一部を使用し、当該事業所の利用者に対して必要な介護や宿泊を伴うサービスを提供すること。

#### 【第一 総則】

- 目的
- 定義
- 基本方針
- 宿泊サービスを提供する上での原則
  - ・ 緊急かつ短期間の提供
  - ・ やむを得ない事情により、連続して提供する場合においては、30日を上限とし、要介護認定有効期間のおおむね半数を超えない範囲とする。

#### 【第二 人員に関する基準】

- 従業者 1人以上
  - ・ 緊急時対応のための連絡体制等を整備
  - ・ 資格を保持することが望ましい。
- 責任者 業務に従事する者の中から1人を定める。

#### 【第三 設備に関する基準】

- 利用定員
  - ・ 指定通所介護事業所等の利用定員の1/2以下(宿泊室の基準の範囲内)
- 宿泊室
  - ・ 1人当たり床面積 7.43㎡以上
  - ・ 個室以外もパーテーションや家具等で視線が遮られ、プライバシーが確保されれば実施可能。
- 消防設備
- 指定通所介護事業所等の設備について、その運営に支障のない範囲で使用可能。

#### 【第四 運営に関する基準】

- ・ 内容及び手続きの説明及び同意
- ・ 宿泊サービス提供の記録
- ・ 宿泊サービスの取扱方針
- ・ 宿泊サービス計画の作成
- ・ 介護
- ・ 食事
- ・ 健康への配慮
- ・ 相談及び援助
- ・ 緊急時等の対応
- ・ 運営規程
- ・ 勤務体制の確保等
- ・ 定員の遵守
- ・ 非常災害対策
- ・ 衛生管理等
- ・ 掲示
- ・ 秘密保持等
- ・ 広告
- ・ 苦情処理
- ・ 事故発生時の対応
- ・ 調査への協力等
- ・ 記録の整備